

夏号みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和5年8月27日(日)10:00～12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

定員：20名(抽選)

内容：季節の寄せ植え

参加費：500円※当日お支払いください。

申込期間：令和5年8月4日(金) 9:00～

令和5年8月13日(日) 17:00まで

申込方法：21世紀記念公園へお電話等で申し込みください。(詳細は、麓山の杜ホームページをご確認下さい)

【記念樹交付日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者

日時：令和5年9月24日(日) 10:00～15:00

日時：令和5年10月22日(日) 10:00～15:00

日時：令和5年11月26日(日) 10:00～15:00

日時：令和6年3月10日(日) 10:00～15:00

***市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を1本プレゼントしています。**

申請期間は新築または購入日から1年以内です。

今年も異常な高温や降雨がニュースになっています。異常な状態が平年になってしまうのでしょうか？植物があることによって緩衝効果が期待できます。温度を抑える効果は以前から言われています。建造物による輻射熱はその時の気温をぐっとあげてしまいます。ヒートアイランド現象で夜になっても温度が下がらず次の日になってしまう、益々温度が上がってしまいます。植物の二酸化炭素の吸収も含め多くの働きを再認識してはいかがでしょうか。



My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

梅雨明け後の温度と降水量が毎年気になるところです。定期的に決まった量の雨が降ってくれば楽なのですが。夏越しの重要ポイントが水やりです。弱らせたり枯らしてしまうリスクが高い季節です。私達はのどが渇けば水を飲みますが動けない植物にはサポートが必要です。庭に植えられている植物は所詮、自然ではなく人為的な人工物といえます。土壌の保水性が高ければ水やりの間隔は長くなります。ただし粘土質土壌のような水はけが悪い状態での保水性が高いことを論じているわけではありません。植え替え時に腐葉土などを混ぜる事の大切さが保水力を高めることに

つながります。植物は種類によって根の張り具合にはちがいがあります。ツツジ類などは根が浅いために最初に乾燥の被害を受けます。また植え替えて間もないものは遠くまで根が伸びていないためにすぐに萎れてしまいます。もし萎れているのを見つけたらすぐにどっぷりと水をあげて遮光ネットなどで日よけをしてあげます。水やりの回数は真夏の時季は朝晩二回必要な時もあります。量は根に届くようにやらなければ効果は限られます。水やりした後に地面を掘ってみてください。思ったほど浸み込んでいないことがわかります。この時季は日中の暑い時間帯には行わないでください。葉が火傷をしてしまいます。

【植替え】

暑い時季の植え替えは控えてください。落葉樹ならば11月まで待つようにします。常緑広葉樹（サザンカなど）は秋の彼岸過ぎの温度が落ち着くころに行えます。

【肥料】

この暑い時季にあげるのは根が傷み逆効果です。草花のようなものでも液肥を普段よりも薄めてあげるようにします。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。この時期は病害虫が特に多く発生する時期です。一般家庭ではスプレータイプの薬剤が楽で効果があると思われます。

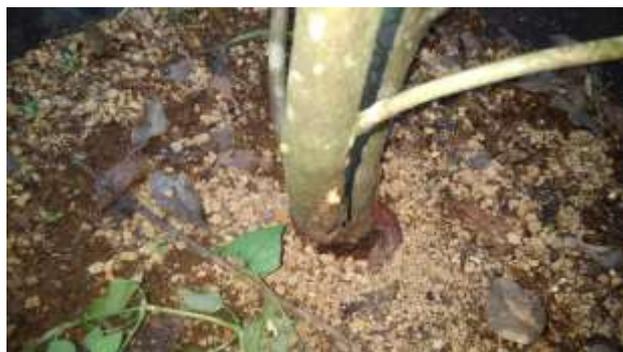


写真はハナミズキの葉に発病したうどん粉病です。梅雨明け後から9月にかけてカエデ類などでも多く発生します。薬剤散布で対応しますが、傷んだ葉は元の状態には戻りません。ただそれ以上に広がらないようにするだけです。



写真はヒイラギモクセイに発生したハムシの被害状況です。サンゴジュなどでも多くみられ被害は甚大です。

ハムシは被害が出る時季は新芽が伸び始めるころなのでその時季に薬剤散布を行うと防ぐことが可能です。



この写真はツツジ類の根元に出ているフラスです。（黄色に見える所）キクイムシの侵入による被害とされます。スプレータイプの殺虫剤の注入が効果的です。

【剪定】

この時季の強い剪定は樹木を弱らせてしまいます。切りすぎて枯れてしまうことも珍しくはありません。月遅れのお盆をさっぱりした庭にして迎えたいという心情は理解できますが植物はそうはいきません。なぜなら暑さから自分の身を守るために葉を茂らせ冬を越すために光合成をして樹体内にエネルギーを貯えます。とても大事な時季です。混みすぎた所を透かす程度の弱い剪定にして樹木にはストレスをかけないようにします。

【この時期のハナカツミ】



この時季は遮光をして直接日光が当たらないようにします。水はけのよい土壌で植えてあるので水やりはしっかり行います。苦手な暑さからハナカツミを守ってあげてください。どうしても開花までは面倒を見るのですが、それ以降はほっぽらかしとなりやすいです。充実した株に育て来年の開花を楽しみに管理をしましょう。